

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	扇町公園
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	扇町公園の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との各種連絡調整など）
成果指標	利用者満足度
数値目標	85%以上
指定管理者名	扇町公園スマイルパートナーズ 【構成員】 大和リース株式会社 関西テレビ放送株式会社 スポーツクラブNAS株式会社
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和25年 3 月31日
評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度
数値目標	85%以上
年度実績	96.8%
達成率	113.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	－	－	－
稼働率	－	－	－

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	19,422,552	－	1,683,847	業務代行料と相殺する公園使用料相当額の増
	計画	17,738,705	－		
利用料金収入	実績	227,920	－	-22,080	
	計画	250,000	－		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	58,544,634	－	-28,506,888	魅力向上施設のオープンが令和 6 年度以降となったことによる減
	計画	87,051,522	－		
合計	実績	78,195,106	－	-26,845,121	
	計画	105,040,227	－		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	46,503,030	－	31,103,030	管理運営体制の変更による増
	計画	15,400,000	－		
物件費	実績	48,608,712	－	25,968,712	管理運営体制の変更による増
	計画	22,640,000	－		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	36,706,218	－	-50,345,304	魅力向上施設のオープンが令和 6 年度以降となったことによる減
	計画	87,051,522	－		
合計	実績	131,817,960	－	6,726,438	
	計画	125,091,522	－		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	113.9%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・簡易な修繕は委託せずに、指定管理者自らが実施した。 ・園地維持管理で発生した落ち葉の一部を将来的な腐葉土として散布し、廃棄物排出量を削減した。	B	利益配分金なし

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況であった。 ・新設する管理事務所予定地において、夏季にヒマワリ、秋季にコスモスの植え付けを実施し、また園内3箇所の緑地帯に菜の花を植え、花の見どころを増やした。 ・仕様書では週5日以上と定められている園内清掃を週7日行い、園内美化に取り組んだ。 ・トイレトペーパーを設置していなかったトイレにペーパーを設置し来園者サービスを向上させた。
事業計画の実施状況	B	・多言語対応した公園ホームページを作成し、園内マップの掲載やイベント情報、花情報の発信を行った。 ・SNS（Instagram・X）を開設し、イベント情報や花情報の配信など、情報発信の強化に努めた。 ・11月から月1回の定期開催イベントとしてマルシェを実施し、公園の賑わいづくりに寄与した。 ・地域の親子が楽しめる、水族館や動物の出張イベント、花火や採蜜の体験会等を実施した。 ・公園全体の魅力向上に繋がる複合イベントとして、酒万博やフードフェス、気球体験、桜まつりなど、大阪産やSDGs、季節感、ふくしま・能登応援などをテーマとしたイベントを行い、公園の魅力向上に寄与した。 ・バス通路に歩行者用通路を設けることで、歩車分離させ接触事故防止に努めた。 ・イベント開催の周知が直前になるなどで、広場利用に関して公園利用者からの苦情・要望等が散見された。
施設の有効利用	B	・商店街と大阪天満宮が主催する「天神・天満阿波踊り」に協賛し、イベントの賑い、商店街の活性化に寄与した。 ・8月に開催した花火体験会において、扇町公園に隣接している扇町スクエアで講習会を実施し、公園の範囲に捉われないイベントの実施により地域の活性化につなげた。 ・地域コミュニティの合同セッションに参加し、意見交換を実施した。 ・プラットフォーム組成について、上半期を目途に発足を予定していたが、近隣団体や公園利用者に参加を呼びかけ、3団体をコアメンバーとして、年度末に結成された。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・落ち葉を園内の緑地帯に敷設し、廃棄物処分量の削減に努めた。 ・8月19日から27日まで鶴見緑地で噴霧した「クスノキ生体水」の抽出残渣であるウッドチップを、園地内に試験的に敷きならした。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4-2 魅力向上事業の達成状況

・ソフト事業として、定期開催イベントである扇町マルシェや、桜まつり、フードフェスタなどの多岐にわたるイベントを実施し、公園に賑いを創出した。単なる食イベントだけでなく、花火体験会や熱気球体験会、出張動物園等、今までになかった公園の楽しみ方を利用者に提供した。

・構成員に関西テレビ放送が所属している強みを活かし、周辺施設である扇町スクエアやキッズプラザと連携してイベントを実施することで、公園の範囲に捉われない取組みを実施できた。また、イベントを中継し、速報性と話題性をリアルにメディア露出することで、公園の魅力発信に寄与した。

・鶴見緑地の指定管理者と連携し、鶴見緑地から部材等の提供を受けて、養蜂体験会を実施した。

・新設であるパークセンター、人工芝広場、水遊び・憩いエリアを令和6年夏に、カフェレストランは令和6年秋にオープン予定であり、令和5年度はオープンに向けた工事を進めた。

・公園駐車場の管理運営については、成果指標を利用台数50,000台としていたところ、実績は55,912台と目標値を大幅に上回った。管理運営開始時より、キャッシュレス決済に対応するよう精算機を改良し、渋滞緩和を行うとともに、バスの駐車予約が無い日はバス駐車場を普通車に開放するなど、利便性向上及び収入増加に努めた。さらに、管理運営開始後3ヶ月間の利用状況を分析の上、24時間最大駐車料金を引き下げるなど、料金体系の改定を行い、利用者負担を減少させた。

5 利用者ニーズ・満足度等

11月23日(土) イベント開催時にアンケート調査を実施し、101名から回答を得た。「公園の管理運営に対して、総合的にどのくらい満足していますか」という問いに対し、回答者の64.2%が「満足」、32.6%が「やや満足」と回答し、合計97%が公園の管理運営に満足しているという結果を得た。

6 外部専門家意見

・トイレトペーパーの設置、駐車場のキャッシュレス決済導入など、利用者サービス向上に取り組んでいる点は非常に評価できる。

・扇町公園の特性を活かし、扇町スクエア等の周辺施設や商店街等の地域と連携した取組みに努めている点も評価できる。今後、プラットフォームの運営によりより一層の地域連携に努められたい。

・利用者満足度調査について、イベント開催時だけでなく、平常時も定期的の実施するなど、日常利用者の意見も反映できるよう調査方法の見直しを図られたい。

・収支状況について、計画と大きく異なる実績であるため、次年度は改善をされたい。

・ハード整備について、計画より大幅に遅れが生じているため、早期に整備し、利便性向上に努めていただきたい。

・ソフト事業は十分なされているが、日常利用との両立を常に意識するとともに、プラットフォームを活用した情報共有や情報収集、地域との更なる連携に努め、新たな取組みに期待したい。

・上記より、管理運営の履行状況について、最終評価における減点が認められる。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	・利用者満足度について、計画時の目標を大きく上回っていることから評価できる。
市費の縮減	B	・大阪市への利益配分には至らなかったが、物価や人件費高騰の影響を受け、管理運営が厳しい状況にあっても、経費削減の取組みを進めており、評価できる。 ・次年度以降は設置許可施設による魅力向上事業が開始することから、市費の縮減がより進むことを期待したい。
管理運営の履行状況	B－	・園内清掃や植栽管理について、仕様書で定めた水準以上で取り組んでおり、高く評価できる。 ・ソフト事業は十分取り組まれており、公園の魅力向上に貢献している。ただし、地域連携の取組みや利用者満足度調査を強化し、利用者ニーズへの適切な対応や日常利用との両立を図られたい。 ・ハード整備の遅れが収支状況に影響していることから、次年度以降の改善を期待したい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・概ね水準に達する管理状況であり、成果指標である目標も達成しているため、一定評価できる。